

# 大腸がんは

## 早期発見

## 早期治療

## が大切です。

大腸がんは早期発見により治療が可能ながんの1つです。  
早期発見のためにも、年に1回、大腸がん検診を受けましょう。



Q1

どれぐらいの人が大腸がんになるのでしょうか？

大腸がんは日本人にもっとも多いがんであり、男性では10人に1人、女性では13人に1人がかかるといわれています。また、日本では大腸がんにかかる方は年々増加しており、40歳ごろから年齢が上がるにつれ高くなり、女性のがんによる死亡数の第1位、男性では第3位と上位を占めています\*1。

Q2

大腸がんとはどのような病気ですか？

大腸がんは、大腸の粘膜に発生するがんのことです。発生する場所によって、結腸がんと直腸がんに分類され、日本人は便が長い間貯留しているS状結腸と直腸にがんがでやすいとされています。大腸がんは、早期に発見し治療すれば、治療が可能ながんのひとつであり、がんがまだ小さいステージIであれば、5年生存率は94%\*2といわれています。そのため大腸がんは早期に発見することが重要なのです。

Q3

大腸がん検診ではどのようなことをするのでしょうか？

大腸がん検診は便潜血検査（検便）で行います。これは便に混じっている目に見えない血液を調べるものです。この検査で便潜血陽性となった場合には精密検査（大腸内視鏡検査・注腸X線検査）を行います。大腸がんは初期では自覚症状がほとんどないため、大腸がんにかかる方が増える40歳以降は、年に1回の大腸がん検診の受診が推奨されています。

Q4

大腸がんが診断されたら、どのような治療をするのでしょうか？

治療にはさまざまな選択肢がありますが、基本的には「大腸癌治療ガイドライン」に沿った標準治療をお勧めしています。まずは手術ができるか、がんの進行度や患者さんの全身状態で判断し、手術が難しい場合でも放射線療法・薬物療法・免疫療法など

Q5

治療を続けながら、仕事を続けることは難しいですか？

を患者さんと相談しながら行っていく必要があります。また最近では「がん遺伝子パネル検査」と呼ばれる検査も保険適用となり、がんの原因に着目した個別化医療も進んできています。

外来通院で治療を受けながら、お仕事を続けている患者さんは多くいらっしゃいます。最近では点滴や飲み薬など治療の選択肢も増えているため、治療にあたってはご自身の希望を医師に伝えていくことが大切です。また、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）\*3と呼ばれる、がん患者さんの思いを支援（尊重）する取り組みもあります。もしご自身が「大腸がんになった場合には、ご自身の「大切にしたいこと」を医療者・ご家族と共有し、納得できる医療の方針についてしっかりと話し合うことが大切です。

\*1 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」  
[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/index.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/index.html)  
(2021年10月閲覧)

\*2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年5年生存率集計報告書」  
[https://ganjoho.jp/public/ga\\_links/report/hosp\\_c/hosp\\_c\\_reg\\_surv/pdf/hosp\\_c\\_reg\\_surv\\_2012-2013.pdf](https://ganjoho.jp/public/ga_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/pdf/hosp_c_reg_surv_2012-2013.pdf) (2021年10月閲覧)

\*3 ACP: Advance Care Planning



大阪労災病院  
下部消化管外科部長  
鄭 充善 先生



堺市立総合医療センター  
大腸肛門外科部長  
中田 健 先生

● 大腸がん検診に関するお問い合わせは…

がん検診総合相談センター

TEL 072-230-4616

FAX 072-230-4636

(9時～20時 土日祝も受付しています。\*12月29日～1月3日を除く)

● 大腸がん検診を受けたい人は…

堺市内の指定医療機関が検索できるサイト

がん検診総合相談ポータル

検索

<https://www.sakai-kenshin.jp/>





つづいていく明日へ

# がん with

がん患者さんの抱える 就労や生活上の課題に関する情報提供サイト



働くこと

詳しく見る→



お金のこと

詳しく見る→



暮らしのこと

詳しく見る→

治療を続けながらも、自分らしく生きていきたい —  
がんwithは、患者さんのそのような想いに寄り添って、  
共に歩んでいくことを目指しています。

体力を  
つけたいけれど  
食欲がわかない



治療中の  
ツライ症状、  
対処法は？



がんと診断  
されたけど、  
仕事は  
続けられる？

治療にかかる  
お金が心配



## このようなお悩みはありませんか？

治療がツライ…  
他の患者さんは  
どのように  
過ごして  
いるの？



治療による  
見た目の変化が  
気になる



体調について  
周りに理解して  
もらうには？



社会復帰  
できるか不安

### 患者さんの悩みに沿ったコンテンツ

#### ● がんと診断されたら

##### 仕事は続けられる？

- ・働き方や利用できる制度、支援の実態とは

#### ● 治療中には

##### 治療が辛い

- ・治療中の日常も、振り返れば大切な時間に
- ・ほかの患者さんは、治療をどう受け止めている？
- ・治療に伴う体調の変化、対処法を知りたいなら

##### 見た目の変化が気になる

- ・変化を受け止めて、対処する方法とは

##### 治療中の症状に対処したい

- ・リンパ浮腫、のぼせ、しびれ…あなたの症状は

##### 治療にかかるお金が心配

- ・お金に関する制度や保険について知りたいなら

##### 食欲がわかない

- ・レシピの工夫で、食べる喜びを

##### 職場復帰できるか気になる

- ・復職や再就職、利用できる支援制度やその実態とは

#### ● 治療が終わったら

##### 体力をつけたい

- ・体力をつけるには、まずは食事から

##### 体調について周囲に理解してもらえるか心配

- ・職場での伝え方、利用できる制度を知るには

##### 治療後の健康を維持したい

- ・食べることで、楽しみながら健康維持を

その他、「食べなくなる、  
作りたくなる食楽レシピ」など  
もりだくさん！

「がんwith」は <https://ganwith.jp/> または

「がんwith」で検索！

🔍 がんwith 検索



すべての革新は患者さんのために

中外製薬

Roche ロシュグループ